

# mogumoguland concept book

## contents

theme  
brand story  
history & outline  
from farm to land  
mogumogu SDGs

data  
-background  
-data  
-voice

special thanks





# 1. theme



農家から未来へつなぐ

美味しいバトン

farmer's market & community

もぐもぐランド



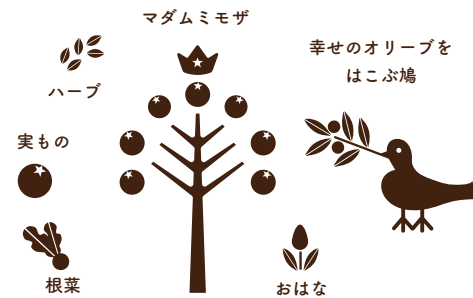


## 2. brand story



春の訪れをつげるのは、  
畑の守り神、マダムミモザ。  
黄金に光り輝く花を咲かせます。

夏は、トマトになす、ズッキーニ  
甘くてほろにがの初恋のゴーヤ  
青空にむかって笑う大きなひまわり。



秋は、虫たちのオーケストラ。  
秋なすにかぼちゃ、さと芋ときたら  
そろそろスープが恋しくなってきます。



冬は、かぶ、大根、泥ネギ、はくさい。  
さあ、甘くてギュッとなった野菜たちを  
キッチンでおいしく、コトコトしましょう。

みんなであつまって、ワクワクしましょう。

# 3. history & outline



## もぐもぐファームのあゆみ

**2000(平成12)年** 八王子市の南側に位置する打越町にて「もぐもぐファーム」設立。代表の小山伸治は、代々この土地にて農業生産に取り組む農家。

**2016(平成28)年** 瓶詰、オイル漬け、漬物食品製造業、他6種類許可取得\*。野菜の食品加工を開始。八王子市内「道の駅八王子滝山」「マルシェ802」「JA八王子直売所ふれあい市場」「八王子朝市」「楽天市場オンラインショップ」他、八王子市内飲食店等にて販売。

**2018(平成30)年** 認定農業者資格を取得。

**2019(平成31)年** 就農希望者や地域の活性化のため一般市民の方々に対し、畑の区画を分けて農業を体験(指導)する農業体験サービスの受入れを開始。廃棄率、フードロスの削減、加工所の拡大と、交流の場や直売所を併設する農の拠点「もぐもぐランド」設立プロジェクトを企画。

**2021(令和3)年** 八王子市の近隣農家と連携し「地産地消」をコンセプトに生産者と取引飲食店と消費者をつなぐマッチングシステムによる宅配事業(とれたて便kiki)開始。「もぐもぐランド」建設着工(2022年5月完成予定)。「旬の野菜を使った時短調理素材の開発及び製造販売事業」が、農林水産省六次産業化\*・地産地消法に基づく事業計画として認定される。

**取得許可:** 飲食店営業、菓子製造業、乳製品製造業、食用油脂製造業、そうざい製造業、かん詰又はびん詰食品製造業、つけ物製造業、そう菜半製品製造業、調味料等製造業(2022年1月現在)

## 事業概要

### 農地と農作物

所有面積は約56a。ジャガイモ、トマト、キュウリ等25種類以上の野菜と花き(49a)を生産。体験農園としても一部(7a)を使用。減農薬、無農薬での栽培。

### 野菜・花き販売

地域では「地元の農家」として親しまれ、近隣の道の駅や委託先ストアに納める農産物も好評で、納品したもののについては、ほぼ完売。

### 野菜や果物の加工販売

自家生産および近隣農家が生産した旬の野菜のうち主に規格外品を活用し、漬物、オリーブオイル漬け、ジャムや菓子、冷凍スープ等の開発、製造、加工を行い、直売所やECサイト、イベント等で販売。

### ドライフラワー製造販売

天候に左右されやすい露地栽培に加え減農薬のため虫や動物にも苦勞する分、力強い花になるのが自慢。ドライフラワーにしてリースなどの手作りのクラフト作品を製造販売。

### 新規就農者支援

農地の提供、販路の拡大、体験農園の委託等で新規就農者支援を積極的に行う。

### マッチングシステム開発

生産者と飲食店をつなぐ野菜の配達マッチングシステムアプリケーションの企画開発。地域を盛り上げ、収益の向上を目指す。



<http://www.r-viale.com/mogumogufarm/>

\* 農林漁業の六次産業化：農林漁業の六次産業化とは、一次産業としての農林漁業と、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。これにより農山漁村の所得の向上や雇用の確保を目指す。

# 4. mogumogufarm product



## Olive de Sol 太陽のオリーブ

当ファームで採れた唐辛子、にんにく、ローズマリーをイタリア産のEXバージンオリーブオイルに漬け込みました。漬け期間によって、ローズマリーやにんにくの香り、唐辛子の辛味が異なります。フランスパンやベーグルパンなどにそのままつけたり、スパゲッティやパスタの最後の香りづけに、茹でたジャガイモやサラダ、豆腐にかけたり。ひとかけで、風味豊かな一品に仕上がります。



## Hot Sauce ホットソース

より辛くて唐辛子だけのシンプルなオイルが欲しいというご要望にお応えして、当ファームで採れた唐辛子を、直輸入のギリシャ産無農薬オリーブオイルのプレミアム“カラマンリミルストーン”に漬けました。漬け期間によって、唐辛子の辛味が異なります。パスタの最後の香りづけ、ドレッシングなど、色々なお料理にお試しください。香りやコクが豊かですので、塩分控えめでいただけます。



## Bitter gourd 初恋のゴーヤ

当ファームの採れたてのゴーヤを、直輸入のギリシャ産無農薬オリーブオイルミルストーンの“サロニカ”に漬け、甘辛い佃煮にしました。初めに食欲をそそる甘味がひろがり、最後にふわっとゴーヤの苦みが感じられる「初恋」のような味わいをどうぞ。苦みが苦手な場合は、漬け込む時間を長くし、しばらく置いてからお召し上がりいただく、苦みがやわらぎます。



## Cheese & Herbs ハ王子のエーゲ海

ハ王子の“磯沼ミルクファーム”の自家製チーズと、当ファームの無農薬ハーブを、直輸入のギリシャ産無農薬オリーブオイルミルストーンの“サロニカ”に漬けこんだ商品。チーズは、ヤギのミルクで作ることが多いですが、こちらは牛乳で作っているためクセがなく、食べやすいのが特徴。そのままワインなどのお酒のおつまみにも、サラダやパスタにかけても、美味しくいただけます。



## Tomato Sauce トマトの台所

当ファームで太陽をいっぱい浴びて完熟した“王様のトマト”と言われる“麗夏(れいか)”を、使用しています。旨味が凝縮され濃厚なトマトに、玉ねぎも加え、保存料、添加物は使用せずナチュラルな味に仕上げているのでお好みに合わせて、お使いいただけます。“トマトの台所”のネーミングは、MIHO OGURI さんが描いてくださったラベル作品を眺めていて、決めました。



## Herbs & Salt ハーヴァソルト

当ファームの香りが自慢のローズマリーと、世界一綺麗と言われたオーストラリアのシャークベイ(シャーク湾)の海塩で作ったハーブソルトです。どんなお料理にもお使いいただけます。サラダはもちろん(太陽のオリーブやHOT SAUCEには特に相性抜群)肉や魚のソテー、スープにひとふり、温野菜、肉などの下味…パッとひとふりしていただくだけで、香り豊かなお料理に仕上がります。



## Flower wreath フラワーリース

当ファームでは、野菜だけではなく四季折々の花や枝ものも、全て露地で育てています。花の栽培は、天候に左右されやすく、農薬を極力使わないので、虫や動物にも苦勞しますが、その分、力強い花たちができるのが自慢です。また、収穫した花をドライフラワーにして、手作りのクラフト作品の製作販売も行っています。お客様のご要望に応じたオーダーメイドや、ワークショップ等の開催なども承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



Homepage



mogumogufarm





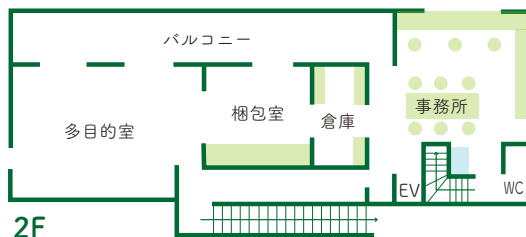
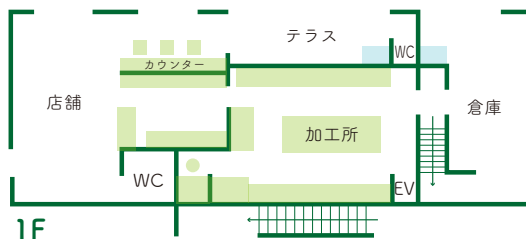
# 5. from farm to land



## ファームからランドへ

2021年12月、mogumogufarmは六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定を受けました。今後はmogumogulandを拠点として、農産物のアップサイクル\*を柱にSDGs\*にも積極的に取り組みます。

\*アップサイクル: サステナブル(持続可能)なものづくりの新たな方法論のひとつ。従来のリサイクル(再循環)とは異なり、単なる素材の原料化、その再利用ではなく、元の製品よりも次元・価値の高いモノを生み出すことを、最終的な目的とする。本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせること



## 施設概要

### 企画開発

- とれたて便 kiki (生産者と取引 飲食店と消費者をつなぐ野菜の配達)
- 援農ボランティアや担い手の育成
- 農地バンクの活用 (作付面積の拡大を図る)
- 地域食材を活用した加工品等の企画開発
- 異業種とのコラボレーション企画
- 農作物アップサイクル\*企画

### 加工品製造

- 自社加工品製造カット野菜
- サラダセット
- 惣菜/漬物/野菜スープ/ジャム
- 乾燥野菜(野菜チップス)/焼き菓子
- OEM加工品委託製造

### 地域食材の販売

- 野菜・果物・花
- 加工品、瓶詰商品
- 菓子
- クラフト
- 販売商品の試食

### イベントの開催

- ワークショップ
- セミナーや勉強会
- 映画上映や交流会



## アクセス

### 施設所在地

東京都打越町 2129-6、7、8、9  
京王線北野駅、JR 横浜線片倉駅  
より徒歩7分。(駐車場7台)



googlemap

### 周辺情報 (車で10分以内)

- 磯沼牧場
- もぐもぐファーム体験農園
- 中西ファーム
- 直売所マルシェ 802
- 八王子総合卸売センター
- SEA FOOD MARKET (サンドイッチ)
- 奥芝商店 (スープカレー)
- コーヒーブリッグス (カフェ)
- 竜泉寺の湯 (温泉)
- 焼肉味ん味ん
- えびす丸 (ラーメン)
- カフェこすもす (パン)



### \*SDGs(Sustainable Development Goals)

2001年策定のMDGs(ミレニアム開発目標 Millennium Development Goals)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にある2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。



エス・ディー・ジーズ

# mogumogu SDGs

## 生産者

廃棄率の高い規格外野菜を直売所で販売したり、加工品の原材料に有効活用することでフードロス削減。

八王子の提携農家



## 直売所・販売所

直売所・委託販売先  
イベントやマルシェ  
インターネット通販



## 消費者

近隣農家の採れたての野菜や農作物が原料の、時短できるお惣菜や加工品を食卓で手軽に楽しみながら、地産地消に貢献。

ご近所、地域の方々  
遠方からの買い物客  
インターネット客



## もぐもぐランド

直売所・野菜食品加工所  
農作物のアップサイクル企画室  
農に関するコミュニティ施設



## 農に興味のある人

農に関するワークショップや、セミナー、講演会や映画上映会などを開催。農に関する情報交換や交流拠点として活用。

学生・社会人・主婦・子ども  
農業関係就業者・異業種

## 飲食店

とれたて便 kiki 利用により、地域の農家の採れたて野菜を手軽に仕入れることが可能。フードマイレージの削減に寄与。

地域の飲食店、定期購入先

気候変動に  
具体的な対策を。



## 新規就農者

市場対応しにくいこだわりの野菜も、とれたて便 kiki を利用して安定した販路を確保。

八王子の新規就農者



パートナーシップで  
目標を達成しよう。



質の高い教育を  
みんなに。



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに。



つくる責任、使う責任。

産業と技術革新の基盤をつくろう。



陸の豊かさも守ろう。



住み続けられる  
まちづくりを。



飢餓をゼロに。



## 6. data

---



参考資料



# background

## 社会的背景

### 一次産業

農業・林業・水産業など、自然から資源を採取する産業のことを指す。

### 二次産業

一次産業が自然から採取した資源を、加工・生産すること。鉱工業や製造業、建設業などが属しており、それらに従事する工場労働者の多くが青い作業服を着ていたことから、ブルーカラーとも呼ばれる。

### 三次産業

流通・販売など目に見えないサービスや情報の生産を行う産業。金融、保険、卸売、小売、サービス業、情報通信業などが属する。第三次産業の労働者はシャツとスーツを着用しているため、ブルーカラーに対してホワイトカラーと呼ばれる。

### 六次産業

一次から三次までの各産業の一体化を図ること。「六」という数字は、「一次産業 × 二次産業 × 三次産業」というかけ算が由来。農林漁業者が、採取した生産物を自ら加工し、販売まで手がけることで、豊かな資源にさらなる付加価値を生み出していこうという取り組みである。

### 都市農地の減少・担い手の不足

現在、都市の農地は、1980年の40年前に比べ、約半分に減少してしまいました。また担い手である農家も減り、1980年から比べると約4分の1の数になってしまいました。これは高度成長期の東京への人口の一極集中により土地の地価が大幅に上がったこと、また農業のような第一次産業より、二次産業、三次産業のGDP（国内総生産＝一定期間内に国内で産み出された物やサービスの付加価値の合計）の割合が占めていったことが大きな要因になります。

地方でも農業の業界の衰退が叫ばれていますが、東京はその傾向が最も顕著で、**東京の農業産出額はダントツの最下位。**（次ページ①参照）**東京での地産地消は0%程度**（次ページ②参照）。それが東京の農業の現状です。

### 農家の収益性の課題

そもそも、なぜ担い手が不足しているのかというと、農家の収益が上がらないからです。収益性の少ない理由として、農地面積が地方に比べかなり狭いということが挙げられます。**まとめて大量生産ができないため、地方の価格競争に負けてしまいがちです**（次ページ③参照）。

また農地が住宅街に近いということもあり、大きな機械、農薬、肥料が使いづらく、生産に集中できる環境がありません。都市農業で収益を上げるためには、既存の生産を行うだけでは限界があります。例えば、**六次産業化、体験型の農園、交流の場、施設栽培の高度化などによって、農作物に付加価値をつけた都市農業**を行っていく必要があります。

### 都市農地の価値の多様化

国や東京都も衰退する都市農業を守るために**2015（平成27）年に「都市農業振興基本法」を施行**しました。高度成長期には、「都市に農地は必要ない」という風潮がありましたが、この法律より「都市の農地は残すべき」という考え方に変わりました。この法律では、都市の農地をより公共性の

高い場所とみなし、農作物生産以外にも、防災、環境、景観、食育、教育、体験、交流など多様な価値を生み出す場所として農地を再評価することになりました。

また、**2018（平成30）年に「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」が制定**され、生産緑地も新規就農者が借りられる体制が整い始めました。コロナ禍を経て、より都市の住民は農地の価値を強く求めるようになり、新しい都市農業の形が生まれようとしています。

### 八王子市の農業

八王子市は東京の23区、26市の中でも農地が最も広く、最も産出額も多い市です。八王子でも新規就農者は着実に増え現在11人（2022年3月1日時点／参考：東京NEO-FARMARS右上QR）となり、これ以外にも法人で働く若い農業者や研修を受けながら新規就農者を目指す方も多くいます。

八王子においても農業の収益性が低いのは変わらずで、大きな課題が残っていますが、コロナ禍を経て、地域の農家を応援しようとする機運も高まっています。地域のまとまったニーズに応えられるよう、八王子の**生産者同士でも連携することで地域内での新しい市場の開拓が期待**されています。八王子の農業産出額（推計）次々ページ④参照）

### 国土交通省の生産緑地法の改正

**2017（平成29）年5月に生産緑地法の一部が改正**されて、生産緑地地区内において、農作物等加工施設、農作物等直売所、農家レストランの設置が可能になり、「もぐもぐランド」も誕生しました。東京都では珍しい生産緑地内の施設建設事例（八王子初）となります（2022年1月現在）。「生産緑地法」は、都市農地の保全のための様々な制度措置のひとつです。生産緑地とは、良好な都市環境の形成を図るために、市街化区域内農地の緑地としての機能を活かし、計画的に農地を保全していこうとする制度です。



## data

資料：農林水産省

「2020年農林業センサス」



「2020年生産農業所得統計」



### ①都道府県別農業総算出額(2019年)

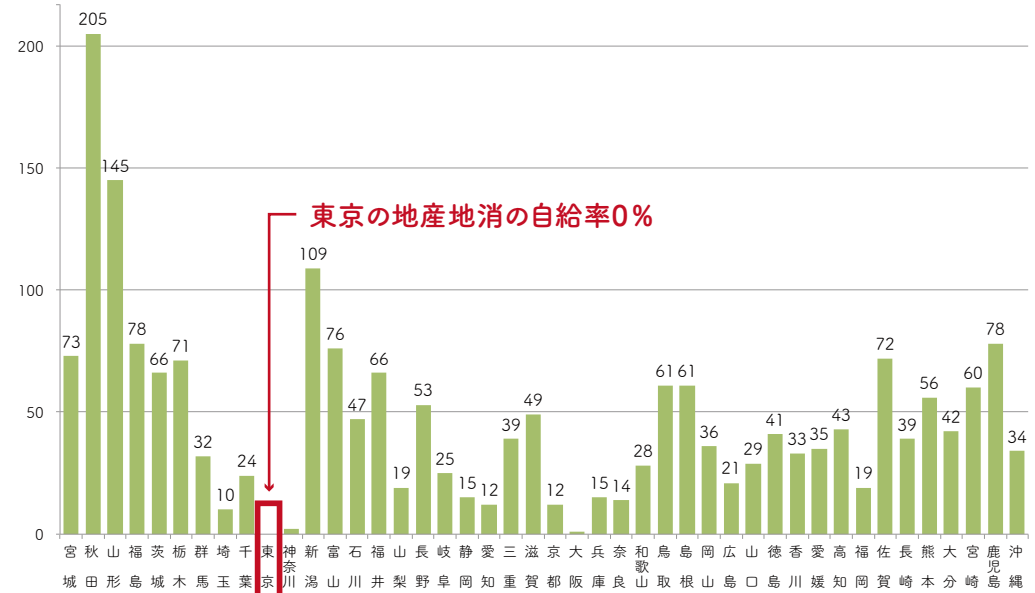
順位	都道府県	産出額(億円)
1	北海道	12,558
2	鹿児島県	4,890
3	茨城県	4,302
4	千葉県	3,859
5	宮崎県	3,396
6	熊本県	3,364
7	青森県	3,138
8	愛知県	2,949
9	栃木県	2,859
10	岩手県	2,676
11	山形県	2,557
12	長野県	2,556
13	新潟県	2,494
14	群馬県	2,361
15	福島県	2,086
16	福岡県	2,027
17	静岡県	1,979
18	宮城県	1,932
19	秋田県	1,931
20	埼玉県	1,678
21	長崎県	1,513
22	兵庫県	1,509
23	岡山県	1,417
24	愛媛県	1,207
25	大分県	1,195
26	広島県	1,168
27	佐賀県	1,135
28	高知県	1,117
29	和歌山県	1,109
30	三重県	1,106
31	岐阜県	1,066
32	沖縄県	977
33	徳島県	961
34	山梨県	914
35	香川県	803
36	鳥取県	761
37	京都府	666
38	神奈川県	655
39	富山県	654
40	滋賀県	647
41	山口県	629
42	島根県	612
43	石川県	551
44	福井県	468
45	奈良県	403
46	大阪府	320
47	東京都	234

東京の農業総産出額  
最下位

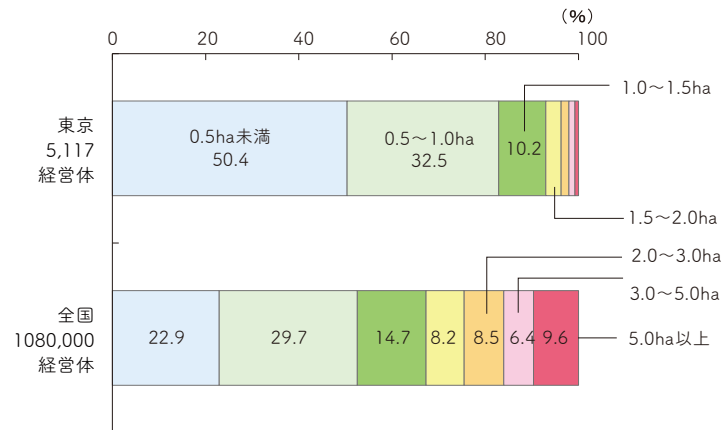
資料：農林水産省「生産農業所得統計」  
農業産出額には、自都道府県で生産され農業へ再投入した中間生産物(種苗、子豚等)は含まない。

### ②都道府県別自給率(カロリーベース)(2019年/農林水産省)

2019年度の都道府県別食料自給率(概算値)が発表。カロリーベースでは北海道が216%で3年連続の首位。東京都は統計開始以来、初めて0%を記録。



### ③経営耕地面積規模農業経営数構成比(東京・全国2020年/農林水産省)



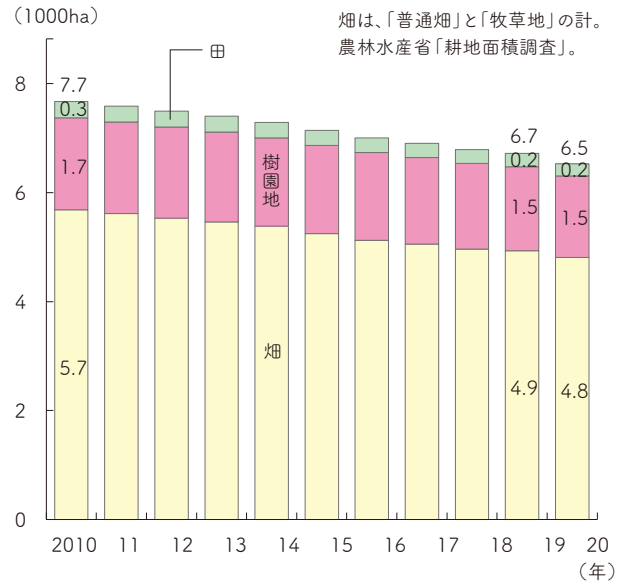


data

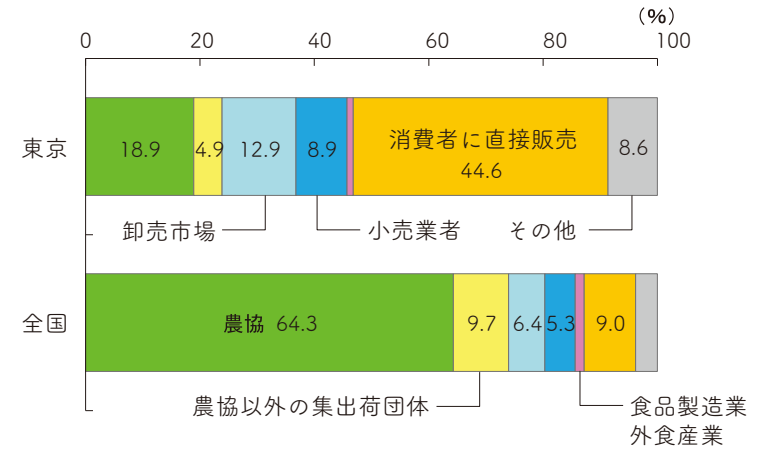
資料：  
東京都産業労働局  
「東京の産業と雇用就業」2021  
よりグラフを引用



●耕地面積の推移(東京)

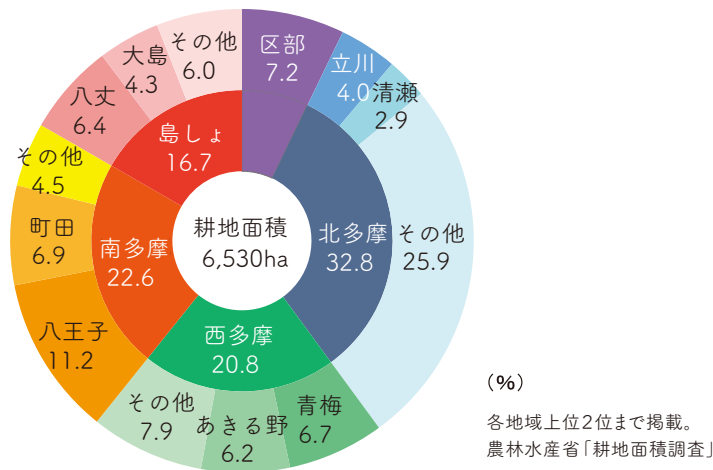


●農産物出荷先別経営体数構成比(東京・全国、2020年)



農産物販売金額1位の出荷先。農産物販売のあった経営体を対象。  
農林水産省「2020年農林業センサス」

●東京都区市町村別耕地面積構成比(2020年)



data

④東京都市町村別農業産出額(推計)農林水産省(2019年)

単位:1,000万円

市町村	農業産出額①+②+③	耕種											畜産							加工農作物③				
		小計①	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	茶	その他作物	小計②	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏		鶏卵	ブロイラー	その他畜産物	
特別区	375	350	0	x	0	0	14	260	25	47	0	-	x	26	0	5	x	x	0	0	-	x	-	
八丈町	279	275	0	-	-	-	1	39	3	229	0	-	x	4	1	3	x	-	-	-	-	-	-	
八王子市	146	97	3	x	0	0	4	72	12	4	0	0	x	49	4	40	33	0	6	6	-	0	-	
武蔵村山市	145	144	0	x	0	0	1	135	5	x	1	1	x	1	-	1	x	-	-	-	-	-	0	-
立川市	109	94	0	x	-	0	2	66	12	5	0	0	x	15	2	9	7	x	1	x	-	x	-	
稲城市	94	94	1	-	0	0	1	9	82	x	0	0	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
清瀬市	90	73	-	x	0	0	2	63	6	x	0	-	x	17	0	17	14	-	-	-	-	-	-	
府中市	84	82	2	-	-	0	2	52	14	7	0	-	x	2	-	-	-	-	2	x	-	0	-	
東久留米市	84	84	-	x	0	0	12	52	10	7	0	0	x	1	1	-	-	-	0	0	-	-	-	
小平市	83	83	-	x	-	0	2	43	28	x	0	0	x	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-	
町田市	82	75	2	-	0	0	5	52	11	x	0	0	x	7	3	3	x	0	1	x	-	0	-	
東村山市	80	79	0	x	-	0	9	29	31	9	0	0	x	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-	
大島町	74	71	-	-	-	0	1	8	1	61	0	-	x	4	-	3	x	-	0	0	-	0	-	
あきる野市	69	48	2	x	0	0	2	37	4	x	0	0	x	21	7	10	8	-	5	x	-	0	-	
三鷹市	68	67	0	x	0	0	2	36	17	4	-	-	x	1	-	-	-	-	1	1	-	0	-	
国分寺市	54	54	-	x	0	0	2	36	7	4	0	0	x	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-	
瑞穂町	54	29	0	x	0	0	1	19	1	6	2	2	x	25	0	24	20	0	0	0	-	1	-	
西東京市	50	50	0	x	-	0	1	29	10	x	0	0	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調布市	46	46	0	-	-	0	2	30	11	x	0	-	x	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
日野市	44	39	1	x	0	0	1	17	19	x	0	-	x	5	0	2	x	-	3	x	-	-	-	
青梅市	31	28	1	-	0	0	1	15	5	2	1	1	x	3	0	3	x	0	0	0	-	0	-	
武蔵野市	27	22	-	-	-	0	1	15	4	x	-	-	x	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
小金井市	22	22	-	-	-	0	1	12	4	x	-	-	x	0	-	-	-	-	0	0	-	0	-	
狛江市	18	18	-	-	-	0	1	13	2	3	-	-	x	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
昭島市	17	16	0	-	-	0	1	8	6	x	0	0	x	1	-	-	-	-	1	x	-	0	-	
東大和市	17	17	-	-	-	0	1	9	6	0	0	0	x	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-	
国立市	16	16	1	-	-	0	1	12	2	0	0	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
羽村市	15	15	0	-	0	0	1	11	1	3	0	0	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
日の出町	12	10	0	-	0	0	1	8	1	0	0	0	x	3	0	3	x	0	0	0	-	-	-	
小笠原村	10	10	-	-	-	0	0	3	6	1	-	-	x	0	0	-	-	-	0	0	-	0	-	
多摩市	8	8	0	x	0	0	1	5	1	0	0	-	x	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-	
利島村	7	7	-	-	-	-	3	-	0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新島村	7	7	-	-	-	-	3	3	0	x	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-	
三宅村	7	7	-	-	-	-	0	5	0	2	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青ヶ島村	3	3	-	-	-	-	0	-	x	0	-	-	-	1	1	-	-	-	0	0	-	-	-	
福生市	2	2	0	-	0	0	0	1	1	x	0	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神津島村	2	2	-	-	-	-	0	0	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
御蔵島村	2	2	-	-	-	-	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
檜原村	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奥多摩町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

資料:

農林水産省

「2020年農林業センサス」



農林水産省ホームページ

グラフと統計でみる農林水産業

各都道府県、市町村別にそれぞれの農林水産業の基本指標、農業部門別の産出額・農業経営体数、販売を目的とした農畜産物の作付・飼養状況データを閲覧することができます。



八王子市の農林業について

八王子市の農業の現況や、どのような作物がつけられているかなどは、八王子市 HP の農業委員会のページからも調べることができます。



※特別区とは

東京都にある23の区のこと。特別区という名称は、昭和22(1947)年に成立した地方自治法に「都の区は、これを特別区という。」と定められたことに由来します。

23区のうち、農地がある区は、葛飾区、江戸川区、足立区、北区、世田谷区、大田区、目黒区、杉並区、中野区、練馬区、板橋区の11区。(「東京都農業振興事務所ホームページの管内農業の概要」掲載)



## voice

農業について、  
もぐもぐランドへの希望  
についてインタビュー、  
アンケートを行いました。

## 自営業(農業体験サービス)

Yさん 30代/八王子在住 男性

[農業について]

農業を私にとってなくてはならないライフスタイルのようなもの。日光を浴びながら、自ら土に触れて農作業をしないと心が落ち着かなくなるぐらいのもの。その喜びを知ってもらいたいために、多くの方に畑に来てもらって、農業の魅力、畑の魅力をぜひ身体に感じてもらいたいと思っています。また採れたての野菜で料理するのが、スーパーで買って食べるよりもはるかに美味しいことを知っています。そのため、イベントのほとんどは一緒に調理をして食べる企画にしています。

[もぐもぐランドへの希望]

●外のイベント企画だけでは限界のあった、**学びの部分をもぐもぐランドの施設内でやっていきたい。研修などにも活かしたい。**

●**一般の人達も商品開発を試しにできる企画や研修**をやってみたい。可能性のある商品があれば、もぐもぐランドで商品化して販売できる体制を作っていく。

●加工品であれば、**一次加工(野菜カット、加熱、冷凍)**を中心に、**必要以上に手を加えず、自宅ですぐ調理ができるようにする仕組みを作っていきたい。**長期保存が難しいため、早めに食べてもらう。そうすることで旬のおいしい野菜の状態ですぐ食べてもらえること、**回転数を高めて地産地消の消費が促す**ことも可能になる。

## 新規就農者Oさん

30代/八王子在住 男性

[農業について]

八王子の由木で就農して6年目になります。新規就農者の特徴でもあります。農地が3箇所(堀内、昭島、ひよどり山)に分散しています。主に野菜とはちみつを作っています。野菜は、学校給食への納品のほかサラダセットなどを飲食店、コミュニティなどへの宅配をしています。八王子は地域自給率をあげるために、学校給食に積極的に地域の野菜を使っています。

[もぐもぐランドへの希望]

宅配の野菜といっしょに販売するための、**季節の漬物加工をしたい**と思っています。八王子の人は意外と八王子の農業のことを知らないの、**もっと知ってもらえるといいな**と思います。**飲食店さんからは、一次加工した野菜を届けて欲しいというニーズを聞いています。**たとえば、じゃがいもの皮を剥いた状態で納品してもらえたら、手間がはぶけるのでとても便利だと思います。もぐもぐランドで、そのようなサービスが提供できればいいのではと思います。

## 新規就農者Iさん

30代/八王子市在住 男性

[農業について]

祖父母が農家だったり、親戚がれんこん農家だったこともあり、子供の頃から農家には興味がありました。24歳のときに中西ファームさんに就職し、10年の経験の後、独

立し、2021年11月八王子市高月町に、畑を5反借りて、近所の農家さんにも助けてもらいながら、今はネギを育てています。

将来的には、**作付け面積を20倍に増やして、さつまいもなどを輸出できるようにしたい**と思っています。**養蜂ではちみつもつくりたい**ですね。

[もぐもぐランドへの希望]

はちみつなどの**瓶づめ加工の委託、乾燥ネギなどの加工をおねがい**したいです。**野菜の洗い場や冷凍庫もあるそうなので、利用させてもらいたいですね。**

## 新規就農者Fさん

30代/八王子市在住 男性

[農業について]

体験農園などを運営していると、農業は、**全ての世代を繋ぐ場**になっており、一つのコミュニティになっていると思います。

[もぐもぐランドへの希望]

もぐもぐランドの商品やもぐもぐランドに関わる農家の加工品が増えてきたら、**全ての農家が集まり、もぐもぐランド大試食会をやりたい**です。

## 新規就農者Sさん

八王子市在住 ご夫妻

[農業について]

就農して10年になります。もとはサラリーマンでしたが、子供が生まれたことがきっかけで、食べものが気になるようになり、安心できるものを探しているうち

に、自分でやろうと思いました。いまは、**みなみ野を中心に少量多品目で5箇所、計5反の畑で野菜を作り、イベントで販売したり飲食店へ納品**しています。

[もぐもぐランドへの希望]

**野菜を洗う場所を貸していただけるのがうれしいです。**

相模原では、農家と納品先(給食、飲食、総菜屋、スーパーなど)のお見合い、**マッチングイベント**があって、これがきっかけで納品先が見つかりました。もぐもぐランドでもぜひ、おねがいします。また、**大豆を育てるところからの味噌作り教室などもずっとやってきたかったことの1つ**です。

## 新規就農者Kさん

30代/八王子市在住 男性

[農業について]

WEBデザインの会社を経営しながら、中西ファームさんでボランティアをしたり、**農業会議さんにお世話になったり、シェア畑で野菜を育てたり**していました。

ですが、コロナでのおうち時間に、食事や食べ物のことを考える時間が増え、ふと、自分のこれからの働き方や生き方について考えた時、これまでのような働き方に疑問をいただき、WEBの仕事は若い人に移行して、**やはり自分には農業しかない**と就農を決めました。2021年11月に、高月町に5反の畑を借りて、**さつまいもを育てています。**

[もぐもぐランドへの希望]

新規就農者たちは、1人ですべて

## voice

を行うのはたいへんなので、同じような仲間がいることがとても強い。自分も仲間がいなかったら、就農しようとは思いませんでした。

それぞれができること、得意分野を生かして、お互いを補い合いあえば、双方向につながって、農業をよい方向へ続けていくことができると思います。

「もぐもぐランド」が、そういう**新規就農者にとって、仲間を作る場となることを期待しています。**

## 会社経営

## 50代／八王子在住 男性

[農業について]

異業種ですが。若手の農家さんの応援としてベジナイトをスタートしましたが、持ち込む野菜が酷かったり、お客様にも喜んで貰えなかったり。1年もたずに若手の農家さんは来なくなり、担当一人で続けていました。外野から見ても、何でもっと努力して良い商品を作らないのか？お客様から直接評価されたり希望など意見も聞けるのに活かさないのか？**見せかけだけの農業ではなく、ビジネスとしてもちゃんと成り立つ農業を作って行かなければ、若い子も寄り付かず本当の意味で農業の将来はない**と思いました。

日本中見渡すと凄腕農家さんは存在し、様々日々努力をしそこには若い子も多数働いています。もちろんビジネスとしても成り立っています。ビジネスとして成り立ち、

尚且つ魅力的な商品や環境を整える事で少しでも次の世代へ橋渡しが出来ればと思いついて活動しています。他にはない野菜やオリジナル野菜の生産、SNSを通して安心・安全・生育過程や生産者の思いなどを、見て感じて貰えるようにしています。生産するもの全てに付加価値が着くように種や苗からこだわっています。同じものを作らない事やこだわること納得した形で単価を上げて行き、いずれは満足に行く収入や魅力的な野菜を生産する事により、**若い子達にもここで働きたいと言って貰えるようにする事が目標です。生産者としてやる以上、プロとしてアマチュアの人には出来ない事にチャレンジして行きます。**

**とにかく期待しています！**

[もぐもぐランドへの希望]

自分達も微力ですがご協力致しますので、よろしく願います！

## 自営業(呉服店)Sさん

## 八王子在住 女性

[農業について]

体験農園に参加したことにより、農業が身近になり、野菜に対しての思いが変わりました(スーパーで買っていた時よりも、野菜の食品ロスを無くそうという思いになったし、野菜を可愛く感じるようになりました)

最近、作った方の写真や説明が野菜に貼られています、あれはとてもいいと思います。**農家さんが進める野菜の食べ方などを発信し**

**てもらえたら嬉しいです。**

[もぐもぐランドへの希望]

**旬のお野菜を食べるお料理教室、スムージーやピクルスなどの気軽に野菜を取れるものの販売。**

コロナが落ち着いたら、美味しいお野菜のお味噌汁とおにぎりの会をやってほしい！笑

## 自営業(管理栄養士)Hさん

## 八王子在住 女性

[農業について]

生協(自然派くらぶ生協)を通して、有機や無農薬野菜作りに頑張っている農家を応援したり、余剰作物を購入したりしています。顔の見える農家の野菜を購入。友人と体験農園を利用しています。

[もぐもぐランドへの希望]

**現在販売している商品(調味料、ジャム等)は委託販売予定。**

**現在フードロスを目的とした野菜スープの商品開発中。**その他、カレー、ピクルス、野菜食材(刻み生姜やニンニク、大根おろし等)、ソース(バジル、青ジソ等)も開発予定。**管理栄養士として、健康講座(子ども、更年期、シニア等向け等やタイムリーな話題で)や、料理講座(味噌作りやピクルス作り等)、その他、食に関する映画、ハーブティ講座、ぬか味噌講座、リース作りなどの開催を予定。**

[もぐもぐランドへの質問]

イベントについては、経理上の関係で主催はもぐもぐランドで、講師料を支払う形になると聞いています。一般の申し込みに関しても、

どうするかは決めないといけませんね。食に関するイベントの範囲と解釈が難しい。こじつければOKなのかどうか？農林水産、全てよいのかどうか？料理教室がどの程度までできるか？水場がないので、できることが限られます。

## 自営業(広告業)Kさん

## 国分寺市在住 女性

[農業について]

地域の農家さんのお野菜は、採れたてで(朝どれのもの)あること、生産者さんの顔が見えること、農薬や肥料などのことも直接生産者さんから聞きすることもできるので、嬉しいです。

また、子供達も自分が毎日食べている野菜がどんなふうになっているのか、どんな人が育てているのかがわかると、**野菜のことを好き**になったり、**地域に愛着がわく**ようです。

旅行などでは、必ず、その地域の道の駅に寄っています。その土地によって農産物にも違いがあって、地域のことが垣間見れてとても楽しいです。

[もぐもぐランドへの希望]

お料理教室や、ワークショップがあるようでしたら、ぜひ、参加したいです。また、**親子で野菜の収穫から、調理、加工までの一連を体験できるようなものがあったら、喜ばれる**のではないかと思います。





ver.2022.04.15 mogumoguland © 2022  
本誌に関するすべての画像と文の転載は  
ご遠慮ください。